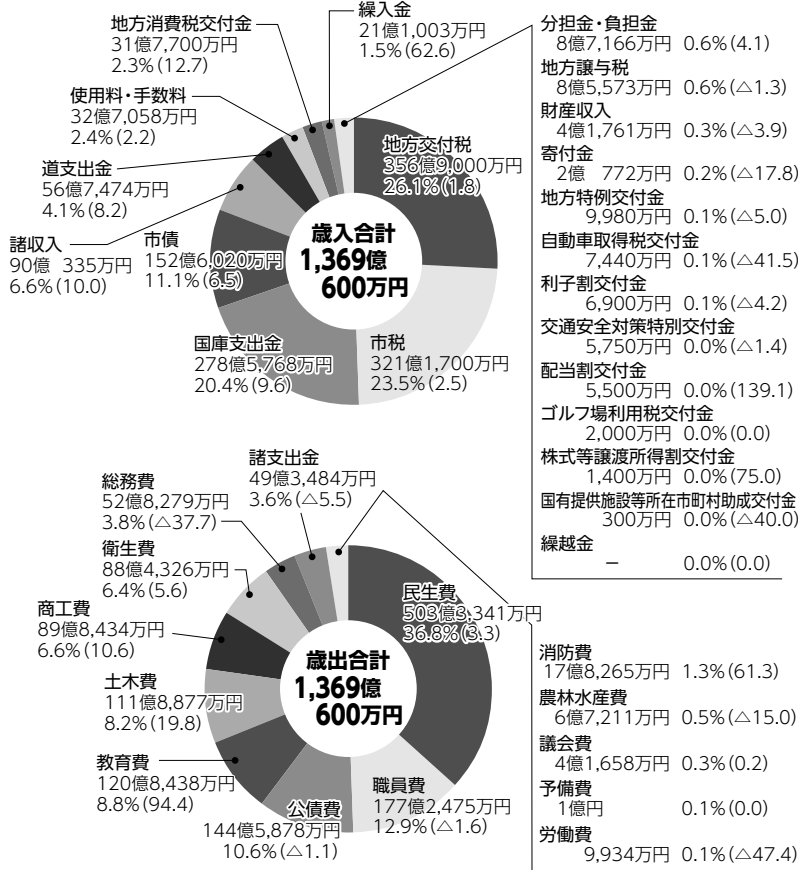


# 26年度一般会計予算案

※( )内は25年度当初予算額に比べた増減率(%)



**予算総額**  
2,752億 200万円  
(前年比7.6%増)

**一般会計**  
行政の基本的な事業に要する経費を市税などを主な財源として経理する会計  
**1,369億 600万円**  
(同5.6%増)

**特別会計**  
事業目的を限定し、特定の歳入を特定の事業に充てて経理する会計  
**845億4,500万円**  
(同0.7%増)

**企業会計**  
独立採算による特定の事業を経理する会計  
**537億5,100万円**  
(同27.7%増)

(注)前年比 = 前年度当初予算比

市の26年度の予算案が決まり、開会中の市議会定例会に提案しています。

総額は約2752億円

# 26年度予算案決まる

## 26年度 特別会計予算案

(単位:万円 △は減)

区分	金額	25年度当初予算額に比べ	
		増減額	増減率(%)
港湾事業	44億6,600	△5億2,800	△10.6
国民健康保険事業	351億1,800	△7億1,800	△2.0
自転車競走事業	150億8,900	9億9,400	7.1
奨学資金	3,700	△100	△2.0
地方卸売市場事業	4億1,600	△300	△0.7
介護保険事業	250億2,300	4億2,600	1.7
風力発電事業	2,200	0	0
母子寡婦福祉資金貸付事業	1億3,600	△600	△4.5
後期高齢者医療事業	42億3,800	3億8,600	10.0
合計	845億4,500	5億5,500	0.7

詳しいことは、財政課(☎21-3526)へお問合せください。

## 26年度 企業会計予算案

(単位:万円 △は減)

会計区分	収益的収支	資本的収支	純利益純損失	累積財源過不足額	一般会計からの繰入
水道事業	収入	49億2,700	16億4,000	△9億9,900	20億6,400
	支出	58億 500	33億1,500		
公共下水道事業	収入	78億9,900	26億5,500	2億5,800	16億7,500
	支出	75億9,400	49億8,700		
交通事業	収入	16億 500	4億8,400	△2億6,300	△1億9,800
	支出	18億4,600	5億6,400		
病院事業	収入	205億2,400	27億6,000	△56億6,900	△2億4,400
	支出	261億9,200	34億4,800		
合計	収入	349億5,500	75億3,900	△66億7,300	32億9,700
	支出	414億3,700	123億1,400		

(注)26年度より、改定後の地方公営企業会計基準を適用のため、退職給付引当金等の支出が前年比増。病院事業の累積財源過不足額は、財政健全化法上の資金過不足額。

26年度の財源不足については、職員給与の暫定的な独自減額や事業の見直しなどの行財政対策を実施することで解消し、8年度以来18年ぶりに、財源調整のための基金などに頼らない収支均衡を図った予算としました。

### 26年度行財政対策の主な内容(一般会計)

事務事業の見直しによる職員数等の見直し	業務の委託化や指定管理者制度の導入等により職員数を削減します。	4,100万円
人事給与制度の見直し	給与の独自削減(平均4.5%)や退職手当の引き下げ等により人件費を削減します。	9億8,300万円
経常経費の見直し	事務費などの内部経費等を見直し削減します。	3億9,500万円
事業等の見直し	事業仕分けの結果や成果の検証等を踏まえ、事業や各種補助金等を見直します。	1億3,000万円
未収金対策の強化	市税等の未収金対策を強化し、収納率向上を図ります。	9,700万円

左表の対策による効果の総額  
**16億4,600万円**